

「公共サービスの商品化」= 企業に 新たなもうけの場を提供するもの

「市場化テスト」は、今年度中に制度設計、来年度から試行をねらう

いま、「市場化テスト」など、公共的なサービスを営利企業のもうけの対象として提供する「商品化」の動きが強まっています。

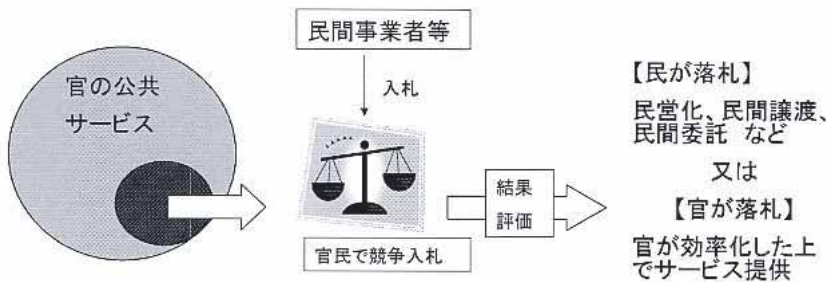


「市場テスト」はすべての公共サービスが対象

「市場化テスト」とは、公共サービスの提供について、民間企業と政府・自治体・独立行政法人などが競争入札で争い、価格・質の優れたものが担い手となるというもの。「骨太方針2004」は、「官でなければ

きない業務の範囲を明確にするための『市場化テスト』」について、「平成16年度中に制度設計を行うとともに、平成17年度の試行的導入に向けて検討を進める」としています。

「市場化テスト」とは？



すべてが金次第？安定したサービス提供ができるか？

規制改革・民間開放推進会議は、民間企業でも「授権する際に、必要な措置を講ずれば、公平性、中立性、継続・安定性に問題はない」といっています。しかし、利潤追求を目的とする民間事業者が「撤退の自由」を主張しないという保障はありません。

きちんとやられていますか？超勤縮減キャンペーン週間

10月1日から7日までは、政府が定めた「国家公務員超過勤務縮減キャンペーン週間」です。

定時退庁の推進 各府省協議・国会・予算等
事務の簡素化・効率化 超過勤務改善に関する

管理職への啓発 独自のキャンペーンを、各府省が実施することになっています。皆さんの職場では、キャンペーンの趣旨通り、取り組みがきちんとされていましたか？